

## 指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成26年度）

施設	名称	栃木市総合運動公園
	所在地	栃木県栃木市川原田町760番地
	施設内容	公園と運動施設
指定管理者	名称	(株)メディカルフィットネスとちの木
	所在地	栃木県栃木市川原田町408番地3
	主な業務内容	栃木市総合運動公園の管理・運営業務

## (1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	職員に対する理念の講習		年6回実施	年10回実施
	定期アンケート数・集計数		年2回実施 300枚	年2回実施 300枚
	利用者意見反映数		処理率100% 反映率60%程度	処理率100% 反映率70%
	利用者満足率		70%程度	80%程度
	日程調整会議及び日程調整率		年1回80%	年1回100%

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント	① 3つのPASSの理念を掲げ、仕様書・事業計画に基づき運営しており、その理念は名札の裏にも表記し、日頃からの意識付けを図り、季節ごとの訓話やパンフレット、チラシにも掲示し、職員が説明できるように理解を深めさせております。
	② 施設利用につきましては、施設ごとに各団体が予定している大会等の日程を確保するため、日程調整会議を開催し、施設利用の利便性・平等性の確保に努めました。また、現在稼働しております、IT技術を活用したシステムの効率を高めるため、新たに管理事務所、総合体育館、プールに券売機を設置し、受付の更なる迅速化を図り、利便性・平等性に配慮した貸し出しに努めました。
	③ 利用者からのご意見やご提案をいただけるよう、管理事務所をはじめ各施設に、「ご意見箱」を設置し、一部の意見だけでなく利用者全体の公平性を保ちながら、運動公園を安心・快適に利用していただけるよう努めました。
	④ 利用者からの苦情等に対しては、直接の苦情等のもとより、市への苦情等に対しても、所管課及び関係各課との連携・調整を図りながら迅速かつ適切に対処しました。

施設所管課コメント	・公の施設を管理運営している自覚を持ち、利用者のニーズに応じた公平、公正、平等な利用を確保し、地域との連携、利用者の満足度を高める取組み等に努められたい。
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価項目	①	事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	公園有料施設利用者数			前年度比2%増	前年度比0.5%減	
	地域との協働事業数			年5回実施	年12事業以上実施	
	時間外開館・閉館対応率			100%	100%	
	広報紙発行数			HP毎月1回更新 チラシ年2回発行	HP毎月更新 チラシ年2回発行 68教室実施	
	自主事業数、自主事業参加者数			前年度比5%増	参加者数前年度比29%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①事業計画通りの管理運営につきましては、通常営業はもとより、大会等は、事前に主催者と綿密な打合せを行い、定刻前の開場にも協力し、計画以上の運営を行いました。</p> <p>②栃木市公式ホームページとの連携やLINE公式アカウントの取得、新聞折込みチラシ等にて新規イベント（スポーツ婚活、水中運動会、エンジョイフットサル大会等）やPASSシステム等の広報をより効果的にを行い、『栃木市総合運動公園』の活用情報を適時周知しました。</p> <p>③トレーニングルーム・プールなどの新規利用者は毎年増加しております。自主事業につきましては、改修しましたスタジオと施設の空き時間を極力利用して開催しておりますスポーツ教室（42教室）を強化し、大幅増の参加者となりました。また、施設の有効活用として、毎年好評の管理釣り場事業をはじめ、新規事業のスポーツ婚活、水中運動会、エンジョイフットサル大会等を展開し、イベントを充実させ、利用者の増加を図りました。</p> <p>④とちぎ協働まつりや、栃木青年会議所、栃木UVAイベントなど、事前会議から参加し、協力いたしました。また、市内中学生や高校生のインターンシップ及びボランティア団体等の清掃活動に対しても、積極的な受入を行ないました。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業の各種教室を増加して、受講者を増やしている。更なる市民への「健康づくり」の推進に期待している。</li> <li>・大会開催時等の駐車場利用について、更なる対応に努められたい。</li> </ul>					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価項目	① 指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか					
	② 経費の削減がサービス低下につながっていないか					
	③ 清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④ 建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	経費削減率（外部委託、光熱水費、燃料費）			前年度比2%削減	前年度比2%減	
	利用料金額			前年度同額	前年度比120% (PASS事業含む)	
	業務実施数			仕様書回数実施	仕様書以上実施	
	自主財源における備品等の更新金額			1,000,000円	4,697,388円	
	施設修繕数			年12回80%	年間79件 修繕率85%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	II	0.8
指定管理者コメント	①税理士の指導のもと適切に行っています。					
	②無線LANによる複数施設の一元化システムと、新たな券売機（3台）の導入により、受付及び会計業務等の迅速化・効率化することで、経費を削減しながらも、十分なサービス向上に繋がりました。					
	③公園施設管理につきましては、経験豊富な職員のノウハウを生かした管理を行い、外部委託だけでなく、経費の節減に努めました。また、委託契約につきましては、内容を精査し、ほぼ同条件ながら経費を削減することができました。					
	④漏水修理・建具等の小破修繕、備品の管理を適正な維持管理に努めました。特に小破修繕は、職員が修繕することにより極力外部委託を減らし、経費削減に努めました。公園内外灯や各施設の照明等は、こまめなタイマー管理等により、節電に努めるとともに、利用者へは節電のポスターを掲示し、協力の呼びかけを随時行い意識の高揚に努めました。					
	⑤経費削減率につきまして、電気料の値上げ及び、今年度も市水管破裂による漏水に伴う経費の増加となりましたが、A重油は、天候や気温による徹底した管理を行い約30%程度の削減を実施しました。今後は、漏水、節電などのチェックシステムを充実させ、更に経費の節減に努めます。					
	⑥施設の利用率増加の施策のひとつでありますPASS事業の充実により、一般利用者がPASS登録者として施設を利用し、各種教室等を受講しているため、利用収入は増加しております。					
	⑦備品等の更新につきまして、自主財源によりトレーニングルームの改修、スタジオの設置、トレーニングマシンの増設を行い、利用者満足度の向上を図りました。					
施設所管課コメント	・施設の維持管理において、小破修繕や樹木管理においては、できる限り職員で対応する等、積極的なコスト削減をお願いしたい。					

(4) 施設の管理を安定して行う能力						
評価項目	① 管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか					
	② 職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか					
	③ 健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか					
	④ 財政状況に異常はないか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数（パート含む）			職員9名、常用職員12名 パート・アルバイト32名	51名を適時勤務表により配置	
	研修会開催数			年6回開催	年8回開催延べ80名程度参加	
	健康保険料・各種税金納付率			100%	100%	
	経常収支比率			±0%	100.97%	
	有資格者勤務人数			11名	11名	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①施設管理につきましては、今までの経験を考慮し、適材適所に人員を配置し、円滑に業務を遂行しました。					
	②運営につきましては、オリンピックにも長年帯同してきた経験豊富なスポーツドクター、自身でもスポーツクラブを長年経営しているフィットネスディレクター、健康運動指導士、健康運動実践指導者、理学療法士など、スポーツに関する専門家と体育施設のマネジメント能力向上のための体育施設運営士を有し、利用者のニーズに沿いながら的確に運営いたしました。					
	③接遇研修の実施や朝礼時に必ず挨拶の掛け合いを行い、接客時対応などに生かされているほか、運動施設に必要なプール施設安全講習会・水難救助訓練・AED操作方法などの社内研修を定期的に行いました。					
	④社会保険労務士の助言・指導を得ながら適切に納入いたしました。					
	⑤財政状況は、健全であります。					
施設所管課コメント	・研修会や講習会に積極的に参加し、最新の管理・運営体制を取り入れてもらいたい。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価項目	① 日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか					
	② 緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか					
	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④ 利用者等の個人情報保護のための対策を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全点検実施回数			年12回実施	年12回以上実施	
	消防防災訓練実施回数			年2回実施	防災年2回40名参加 救命年6回90名参加	
	安全講習会等開催数・個人情報対策			年4回開催 100%	年8回開催 100%	
	救急車等緊急対応率			100%	100%	
	労働災害件数			0件	0件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1	20	II	0.8
指定管理者コメント	<p>① 日常の点検及び巡回は必ず行い、危険箇所は発見次第即時対応しています。安全マニュアルに基づき、社内研修を定期的に行いました。防犯につきましては、栃木警察署と連携し利用者の安全確保に努めました。</p> <p>② 社内緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡及び対応等の確認を行っています。防災につきましては、総合運動公園が市の避難場所に指定されていることから、地震・台風等の災害が予想される場合は、市と連携を図り、速やかな準備態勢をとることとしています。</p> <p>③ 消防署の指導を得ながら、消防避難訓練や心肺蘇生法を主体とした人命救助訓練を適時行いました。救急体制では、消防署との連携と併せて、とちの木病院との連携を図りました。</p> <p>④ 個人情報保護規定を設け適切な管理を行いました。</p>					
施設所管課コメント	・ 年々、公園利用者は増えていることから、更なる施設点検及び巡回の強化をお願いしたい					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	20	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	12
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	20	20
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	16
評価点合計	100	91	84
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	25年 3月期	26年 3月期	27年 3月期
資産総額	60,296,386	54,191,494	66,017,062
売上高	233,844,007	278,363,716	304,382,796
経常利益	120,896	3,906,765	2,949,093
当期利益	39,496	2,873,604	2,262,293
経常収支比率	100.1%	101.4%	101.0%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	25年 3月期	26年 3月期	27年 3月期
経常費用	239,739,891	281,277,163	303,502,747
経常収益	239,860,787	285,183,928	306,451,840
経常収支比率	100.1%	101.4%	101.0%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・年度収支計画により計画的な運営をしておりますが、電気料の値上げ及び、今年度も市水管破裂による漏水があり経常費用の増加となりました。  
また、施設の空き時間を利用して開催いたしました自主事業の拡充等による利益については「人…スタッフのスキルアップ」「もの…整備機器の購入や施設改修」に極力投資し、市民サービスの向上に努めました。